
釣り方について考える (2017/9/5~2021/1/13の釣り日記からのまとめ)

餌撒きの時の釣り方

【リフト&フォールと‘ただ巻き’】

○反応はややあるが、リフト&フォールで掛かってこない。いろいろ試した。釣れたのは‘ただ巻き’だった。(2018/6/9)

○餌が撒かれたタイミングでスプーンを投げられなかったことから、リフト&フォールはダメだった。釣れたのは‘ただ巻き’だった。ペンタ1.0g薄茶 5尾 (2018/8/19)

○餌撒きが始まった。スタッフさんから「少し速めに巻いてください」とアドバイスがあった。触っては来るものの、釣掛かりしない。リフト&フォールに切り替えた。ヒット(&ゲット)した。リフト&フォールで釣れなくなった。気持ち速めのステディリトリーブに変えた。ヒット(&ゲット)した。(2020/1/19)

・ペンタ1.0g サンドブラウン 4尾 リフト&フォール

・ペンタ1.0g サンドブラウン 2尾 ステディリトリーブ

○餌撒きが始まった。ペンタ1.0gでリフト&フォールをするが思うように釣れない。ペンタ1.3gで試すが同様。再びペンタ1.0gに戻す。リフト&フォールしたり少し速めに巻いたりした。餌を撒いているスタッフさんが「ある程度重くないと釣れない」とつぶやいていたので、ペンタ1.7gでリフト&フォールをした。ペンタ2.1.7gでのリフト&フォールは結構反応が良かった。これを繰り返していたら、終了のアナウンスとなった。(2020/1/26)

・ペンタ 1.0g サンドブラウン 2尾

・ペンタ 1.3g 薄茶 2尾

・ペンタ2 1.7g 薄茶 リフト&フォール 4尾

【スプーンを弾ませて】

○「着水したら、スプーンを弾ませて、そのままリトリーブ」という釣り方をしたが、1.3gではスプーンを弾ませると、飛びすぎるので、1.0gで試すことにした。1.0gでイメージ通りにできた。1尾ゲット。再び試すが、反応が今ひとつである。(2019/12/15)

→ “スプーンを弾ませる”とは、スプーンを水面上まで引き上げては落とすことを繰り返すことである。着水時にマスが集まってくる。

→ 現在、この釣り方はしていない。“弾ませる”ことが難しい。別の釣り方で釣れる。

【Pellet Pellet SS で釣る場合】 (2020/10/21)

スタッフさんに教えてもらった。

①着水後、すぐに竿を立てて、素早く巻き、糸ふけをとる。

②ルアーを水面近くまで上げるために、竿を更に引き上げながら巻く。ルアーが水面から出てもよい。

③竿を立てたまま、ルアーを魚の頭の上を通過させることをイメージして巻く

【スプーンで釣る場合】 (2020/10/21)

スタッフさんに教えてもらった。

スプーンは、薄茶色の1.2gがよい

1.2gがなかったので、「ペンタ 1.0g サンドブラウン」を選ぶ。

①着水後、すぐに竿を立てて、素早く巻き、糸ふけをとる。

②スプーンを水面近くまで上げるために、竿を更に引き上げながら巻く。スプーンが水面から出てもよい。

- ③スプーンが水面近くまで上がったら、竿を下げて速く巻く。
→ スプーンがくるくる回るような速さではダメ。速すぎる。
スプーンが泳ぐ速さで、速く巻く。
魚の視野から、餌が消える、餌が逃げていくというイメージで巻く。
○餌撒き後も同様に釣った。

【実釣から】

(2021/1/13)

- 餌撒きが始まった。マメしづくSS薄茶を「着水後すぐゆっくりリトリーブ」で連続ヒットとなった。
○投げて着水すると、マスがワッと集まってくる。そこでゆっくりリトリーブするとヒットする。
○やがて、着水しても、マスが集まってこなくなる。それでも、ルアーを見つけると喰ってくる。こういった状況では、速く巻いて、広く探った方が釣果が上がると思う。マメしづくBB薄茶に変えた方が釣果が上がるだろう。しかし、そのルアーはツレが使っている。
・マメしづくSS薄茶 7尾 表層リトリーブ
○当たらなくなった。「3回リトリーブして止め」を試した。ヒット。
・マメしづくSS薄茶 1尾 3回リトリーブ後の止め
○しかし、続かない。調子の良かったスプーンに変えた。連続ヒットとなった。
・ファクター 0.6g かみつけペレット 3尾
○まだまだ釣れ続くようであったが、4時30分、納竿のアナウンスがあった。
- 現在は、自作ルアーである「マメしづくBB薄茶」、「マメしづくSS薄茶」で調子よく釣っている。
釣り方は、この方法(2021/1/13の方法)である。
- スプーンで釣るなら、スタッフさんに教えてもらった方法(2020/10/21の方法)と「リフト&フォール」を組み合わせるとよいと考える。